

高知大学医学部産科婦人科学教室 後期研修プログラム



高知大学
Kochi University

高知大学医学部産科婦人科学教室
専攻医育成プログラム

専攻医育成プログラムの特徴

1	4領域全てに 専門医または指導医 が在籍
2	バランスの良い症例経験が可能
3	4領域全てに 達成目標症例数以上の経験 が可能
4	専門医申請に向けた経験と、 レポート指導体制 がある
5	専攻医・サブスペシャリティーの育成は、 屋根瓦式産婦人科医療システム

専攻医の育成体制

4領域の指導医は全て**専門医**または**指導医**を取得している

周産期

指導医

中堅医師

専攻医

婦人科腫瘍

指導医

中堅医師

専攻医

生殖内分泌

指導医

中堅医師

専攻医

女性ヘルスケア

指導医

中堅医師

専攻医

育成

産婦人科専門医

産婦人科指導医、サブスペシャリティー専門医・指導医

産婦人科専門医取得に向けた専攻医のための 屋根瓦式産婦人科医療教育システム

指導医

中堅医師

中堅医師

専攻医

専攻医

専攻医

専攻医

産婦人科専門医取得に向けた
1. 産婦人科4分野の症例経験
2. レポート作成の指導体制
などが整っている

高知大学医学部産科婦人科学教室

4領域の研修内容

1. 周産期
2. 婦人科腫瘍（婦人科手術）
3. 生殖内分泌
4. 女性ヘルスケア

1. 周産期の認定施設・指導医・中堅医師

■周産期医療について

2023年10月1日現在

認定施設・指導医・ 中堅医師	医師数	職階ほか	専門医・指導医	備考
認定施設	3名		母体・胎児専門医指定施設	
指導医	1名	准教授	日本産科婦人科学会専門医・指導医	
			日本周産期・新生児医学会専門医・指導医	
			日本超音波医学会専門医・指導医、	県内唯一
			日本人類遺伝学・日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医	
			日本胎児心臓病学会 胎児心エコー認証医	県内唯一
			英国The Fetal Medicine Foundation First Trimester Screening Certificate	
中堅医師	1名	助教	日本産科婦人科学会専門医	
中堅医師	1名	医員	日本産科婦人科学会専門医	
			産科婦人科遺伝診療学会認定医（周産期）	県内唯一

1. 胎児超音波・分娩・出生前診断の研修

■周産期医療について

症例	経験必要症例数	高知大学産婦人科 症例数（2022年）
分娩立ち合い	100 例	261 例
帝王切開執刀	30 例	150 例
帝王切開助手	20 例	150 例
前置胎盤	5 例	5 例
メンタルケアを要する妊婦		50例/年
超音波スクリーニング		5-10 例/週
特殊産科外来		3-5 例/週
遺伝カウンセリング		3-6 例/週
胎児治療（羊水注入・胎児胸水・ 羊水腔シャント術・胎児輸血 など）		数例/年

1. 胎児超音波・分娩・出生前診断研修の詳細

■専攻医が周産期グループで研修する内容

1. 母体・胎児専門医1名・中堅医師2名・専攻医1名で病棟の管理を行います。
2. 妊婦健診はローリスク、ハイリスクに分けて行います。
ローリスク：専攻医、中堅医師、専門医 ハイリスク：中堅医師、専門医
3. 経膈分娩、帝王切開（通常）の執刀は専攻医と中堅医師が、指導医の下で行います。
4. 分娩介助、帝王切開助手は専攻医と中堅医師が、指導医の下で行います。
5. 中堅医師以上が胎児超音波スクリーニング外来を担当し、専攻医を指導します。
6. 産科特殊外来を担当します。専攻医は指導医（母体・胎児専門医、超音波専門医、胎児心エコー認証医）の元で検査を行います。
7. 遺伝カウンセリング外来を担当する 専攻医は指導医（6のかっこ内と同じ）の下でカウンセリングを行います。
8. 胎児治療を行います（母体・胎児専門医取得のため）。補助・助手を務めます（専攻医以上）。
9. 妊娠中期中絶を行います（母体保護法指定医取得）。補助・助手を務めます（専攻医以上）。

*症例数
のポイント

1. 超音波スクリーニングは週5-10例
2. 遺伝カウンセリングは週3-6例
3. 特殊産科外来は週3-5例
4. 胎児治療は年数例（羊水注入・胎児胸水・羊水腔シャント術・胎児輸血など）

2. 婦人科がんの認定施設・指導医・中堅医師

■ 婦人科がんについて

2023年10月1日現在

認定施設・指導医・ 中堅医師	医師数	職階ほか	専門医・指導医	備考
認定施設	3名		婦人科腫瘍修練B施設	県内唯一
指導医	1名	講師・腫瘍グループ長	産科婦人科学会専門医・指導医 がん治療認定医・指導医 婦人科腫瘍学会専門医	県内唯一
中堅医師	1名	助教	日本産科婦人科学会専門医 がん治療認定医 遺伝性腫瘍専門医	
中堅医師	1名	助教	日本産科婦人科学会専門医 がん治療認定	

2. 婦人科がん/婦人科手術の研修

■ 婦人科がん・手術について

症例	経験必要症例数	高知大学産婦人科症例数/2022年
子宮頸がん	浸潤が 5例 (助手も可)	手術4例/CCRT20例
子宮体がん		開腹 7例/腹腔鏡下 14例
卵巣・卵管・腹膜がん		開腹 20例/審査腹腔鏡 5例
外陰・膣がん・その他		外陰癌 3例/骨盤除臓 2例
子宮全摘術 (執刀)	10例 (開腹 5例以上)	開腹 66 例/腹腔鏡下 35例
子宮付属器手術 (執刀)	10例	開腹・腹腔鏡下 30例 RRSO 15例
開腹 or 腹腔鏡		
腹腔鏡下手術	15例	腹腔鏡下手術 129例
膣式手術執刀	10例	全 63例 円切 13 例 内膜搔爬術 20例 TVH/LAVH 7例
子宮内容除去術 or 全面搔爬術	10例	子宮内容除去 5例/内膜搔爬術 20例

2. 婦人科がん研修の詳細

■専攻医が、婦人科腫瘍グループで研修する内容

1. 腫瘍専門医1名・中堅医師2名・専攻医（後期研修医）1名で病棟の管理を行います。
2. 手術は各ステップで分けて行います
例：開腹→初期・後期研修医、TAH+BSO→専攻医（後期研修医）、リンパ節郭清→腫瘍専攻医
3. 腹腔鏡下子宮体癌手術（骨盤リンパ節郭清）やロボット支援子宮体癌手術も行っており、開腹とMIS（最小侵襲手術）で解剖の確認を行うことで、より理解を深められます
4. 放射線症例は年間20例以上あり、放射線治療のスケジュール・副作用などを経験可能
5. 化学療法は年間50人以上をあり、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤なども経験可能
6. 毎週火曜日朝に腹腔鏡トレーニングを行っています。各ステップ毎に症例を当てていきます
7. 必要症例に関しては6カ月で経験可能と考えています

*症例数
のポイント

1. TAHは月2-5例あり、3-6か月で10例程度研修可能
2. 円錐切除・子宮内膜搔爬も3か月で5例以上研修可能
3. 腹腔鏡下BSOなどは3か月で6例以上研修可能

3. 生殖内分泌の認定施設・指導医・中堅医師

■生殖内分泌について

2023年10月1日現在

認定施設・指導医・ 中堅医師	医師数	職階ほか	専門医・指導医	備考
施設	計3名		生殖医療学会生殖医療認定・研究施設	
指導医	1名	生殖内分泌 グループ長 助教	日本産科婦人科学会専門医 生殖医療学会生殖医療専門医・指導医 がん生殖医療ナビゲーター	
指導医	1名	講師	日本産科婦人科学会専門医・指導医 生殖医療学会生殖医療専門医	
中堅医師	1名	助教	日本産科婦人科学会専門医 がん生殖医療ナビゲーター	

3. 生殖内分泌の研修

■ 生殖内分泌について

症例	経験必要症例数	高知大学産婦人科 年間症例数（2022年）
不妊症	5例	
初診		約30例
人工授精		95件
ART	5例 (見学も可)	
採卵		45件
融解胚移植		29件
ICSI		実施していない
TESE		実施していない
がん生殖		6名

3. 生殖内分泌研修の詳細

■専攻医が、生殖内分泌で研修する内容

1. 生殖内分泌は外来診療が主であり、生殖医療専門医2名、中堅医師1名が担当しています。病棟では、拳児希望・不妊患者の手術（筋腫核出や卵巢嚢腫摘出、内膜ポリープ切除など）・異所性妊娠・OHSSなどの症例を担当します。
2. 研修の目標
 - ①不妊症患者の問診を行い、検査を計画する
 - ②排卵誘発剤・各種ホルモン剤の適用・使用方法・リスクなどを理解している
 - ③培養室業務（媒精・受精確認・胚凍結と融解・精液の調整・培養液等の準備等）を理解している
 - ④不妊患者の問診・診察・検査結果を評価し、治療方針を決定する
 - ⑤子宮卵管造影検査・ソノヒステログラフィー・精液検査など実施できる
 - ⑥超音波検査で子宮内膜や卵胞を計測し、タイミングの指導や、人工授精を計画できる
 - ⑦人工授精、ART（採卵、胚移植など）、子宮内膜生検などの処置の補助ができる
3. マウスの卵子を使った胚操作・ICSIのトレーニングを計画しています
4. 長期休暇（GW・年末年始）や学会シーズンはARTが減ります。専門医取得に必要な症例数をクリアするためには、積極的に検査や治療に入るようにしてください。

* 症例数
のポイント

1. 不妊症初診は年間約30名、がん生殖年間6名
2. 2022年度は、人工授精95件、採卵45件、融解胚移植29件（ICSI・TESEは実施していません）

4. 女性ヘルスケアの認定施設・指導医・中堅医師

4. 女性ヘルスケアについて

2023年10月1日現在

認定施設・指導医・ 中堅医師	医師数	職階ほか	専門医・指導医	備考
認定施設	計2名		日本女性医学学会認定研修施設	
指導医	1名	女性ヘルスケア グループ長 助教	日本産科婦人科学会専門医 日本女性医学学会ヘルスケア専門医	
中堅医師	1名	医員	日本産科婦人科学会専門医	

4. 女性ヘルスケアの研修

外来受診・処方	経験必要症例数	高知大学産婦人科 年間症例数（2022年）
外来受診者数	/	約520名 （10代～80代）
LEP処方	初回処方 5例	のべ107件 （初回処方4例）
HRT処方	5例	のべ215例

4. 女性ヘルスケア研修の詳細

■女性ヘルスケアグループでの研修

1. 女性ヘルスケアは外来診療が主であり、女性医学学会女性ヘルスケア専門医1名、日本産科婦人科学会専門医1名が担当しています。
2. 女性ヘルスケア外来で経験できる症例
 - ①月経異常（原発性・続発性無月経、多嚢胞卵巣症候群、機能性子宮出血、過多月経、月経困難症、月経前症候群、早発卵巣不全）に対するホルモン療法や漢方療法
 - ②更年期障害に対するホルモン補充療法や漢方療法
 - ③産婦人科心身症に対する漢方療法
 - ④腫瘍グループと連携したがんサバイバーのヘルスケア
 - ⑤エストロゲン低下による骨粗鬆症の予防や治療
 - ⑥脂質異常症など生活習慣病の一次予防
 - ⑦骨盤臓器脱に対するペッサリー療法
3. 希望により子宮内膜症外来の見学も可能です。

*症例数
のポイント

1. 外来受診者は10代～80代まで年間約520名
2. LEP処方へのべ107件（うち初回処方例4例）
HRT処方へのべ215例（2022年度）

専攻医が産婦人科専門医取得に必要な経験症例数

症例	必要症例数	高知大学産婦人科 年間症例数（2022年）	
分娩立ち合い	100 例	261 例	周産期
帝王切開執刀	30 例	150 例	
帝王切開助手	20 例	150 例	
前置胎盤	5 例	5 例	
子宮全摘術（執刀）	10 例 （開腹5例以上）	51 例	婦人科腫瘍
浸潤がん手術（助手も可）	5 例	55例	
子宮付属器手術（執刀）	10 例	開腹・腹腔鏡下30例 RRSO15例	
開腹or腹腔鏡			
腹腔鏡手術	15 例	腹腔鏡下手術 130 例	
腔式手術執刀	10 例	円錐切除 20 例	
子宮内容除去術or全面搔爬術	10 例	全面搔爬術20例	
ART（見学も可）	5 例	採卵 45 件 融解胚移植 29 件	生殖内分泌
ヘルスケア症例	5 例	外来受診 522例 （10代～80代）	女性 ヘルスケア
LEPなど処方	5 例	LEP 107例、HRT 215例	放射線・化学療法
放射線治療・分子標的薬やICIを含む化学療法	1 例以上		

高知大学医学部産科婦人科学教室
外来の体制

専攻医の1週間のスケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜・日曜
		7時半～ラパロ トレーニング				原則グループ内 で交代して朝回 診のみ対応 その他は日当直 医が対応
8時～	グループ回診	グループ回診	グループ回診	グループ回診	グループ回診	
午前	9時～外来	9時～外来 (検診バイト)	手術	外来	手術 (検診バイト)	
午後	14時～ 総回診 臨床 カンファ	13時～ 各種特殊外来 処置:HSGなど 15時～術前IC 16時45分～ 周産期カンファ	手術 腔内照射 産科処置	13時～ 各種特殊外来 コルポ外来 15時～術前IC	手術 産科処置	
17時～	グループ回診	Up to date グループ回診	Up to date グループ回診	カルテ回診 グループ回診	Up to date グループ回診	

* 特殊外来には胎児超音波スクリーニング、出生前診断、遺伝性腫瘍、子宮内膜症などがあります

* 外来は主に初診の予診です。希望に応じて特殊外来の見学も可能です

* 採卵・IVFなどは症例があるときに声掛けをして見学などをしてもらいます

* 朝・夕でグループ回診して情報共有します

高知大学医学部産科婦人科学教室
病棟の体制

専攻医の病棟研修（総回診・カルテ回診）

* 朱書は専攻医研修

目的

1. 患者に安心感を与えるとともに信頼感を得る
2. 医局員全員で患者の病状や方針を情報共有する



総回診（月）

1. 回診前カルテプレゼンテーション
2. ベッドサイドプレゼンテーション
3. 治療方針の確認と指示受け
4. カルテ記載（指示）

カルテ回診（木）

1. 担当患者プレゼンテーション
2. 治療方針の確認と指示
3. カルテ記載

専攻医の病棟研修（カンファレンス）

* 朱書は専攻医研修

■カンファレンス

1		臨床カンファレンス（月）
	1)	病棟患者・手術患者・再発患者等
	2)	放射線治療合同カンファレンス
	3)	産科カンファレンス
2		周産期カンファレンス（火）
3		up to dateカンファレンス（毎日17時）
4		医療安全（振り返りと対処・方針）
5		デスカンファレンス

担当医・専攻医	
1	プレゼンテーション
2	カルテ記載

※その他：産科症例検討会・地域行政保健師とのケース会
臨床遺伝カンファレンス・Cancer Board

産婦人科中堅医師・指導医に向けた専攻医のための 屋根瓦式産婦人科医療教育システム

指導医

中堅医師

中堅医師

専攻医

専攻医

専攻医

専攻医

1. サブスペシャリティーを習得
2. 各々の分野に応じた、専門性の高い医療技術の習得

初期研修医・専攻医の住居について

- ◆大学構内に研修医用のレジデントハウスがあります
ご希望があれば、空室状況を確認して、使用申請します（原則初期研修医が使用）

家賃：12,000円
共益費：2,000円
水道料金（使用分）
ガス料金（使用分）
駐車場利用の方：3,000円/月

以上が毎月かかる費用です。その他に、

ハウスクリーニング代：14,300円
（入居時のみ）

* 1Fに腹腔鏡ドライボックスなどの研修
ルームがあり、24時間使用可能です



南風



風除室





みなさまと共に働けることを
楽しみにしております！